

令和2年7月吉日



江戸時代の働くおじさんを探せ！

大阪浮世絵美術館 夏イベントのご案内



浮世絵の「浮世」とは「現代風」「当世」といった意味で、浮世絵を見ると江戸時代の庶民の日常生活がわかるといわれています。

大阪浮世絵美術館では、現在開催中の「生誕260年記念 葛飾北斎祭」展をより楽しんでご鑑賞いただけるよう、お子様や学生の方を対象に、展示中の浮世絵作品の中に描かれている働く人々をピックアップしたクイズシートをご用意しました。

作品が制作された江戸時代当時ならではの仕事や、現代も残っている仕事など、浮世絵を見ることで江戸時代の生活がより身近に感じられるかもしれません。また、いつもとは違った視点で絵をじっくりみることで、知っている絵の中からも新たな発見が生まれる可能性も！クイズシートの中の働く人は、どの絵に描かれている人物か、楽しく探しながら展覧会を回って頂けます。また、全問正解者にはささやかなプレゼントもご用意しております。大人の方の参加も大歓迎です！

【夏企画クイズ！浮世絵版画でみる 江戸時代の働く人おじさんを探せ！概要】

開催期間：2020年7月1日（水）～2020年8月30日（日）※月曜日・火曜日は休館日です（祝祭日は除く）

対象：企画展示室に入館するお子様や学生

※新型コロナウイルス感染拡大防止の為、混雑の際は入場を制限させて頂く場合がございます。

【生誕260年記念 葛飾北斎祭】

本企画展では、葛飾北斎が70歳を過ぎてから描いた代表作である「富嶽三十六景」を中心とした約35点の作品を展示しております。「富嶽三十六景」のうち三大富士と呼ばれる「神奈川冲浪裏」「山下白雨」「凱風快晴」や、北斎が絵手本として発行した「北斎漫画」など全て江戸時代当時に摺られた有名な北斎作品が一度にご覧いただけ、見ごたえのある展示となっております。

また北斎の作品以外にも、歌川広重や歌川国貞(後の三代豊国)などさまざまな絵師が描いた関西にちなんだ浮世絵版画も複数展示しております。日本が世界に誇る浮世絵の美しい色彩や大胆な構図、摺りの技法をじっくりとお楽しみください。



押送船で働く人々が！
お疲れ様です…！！

▲有名な「神奈川冲浪裏」にも働く人々の姿が…！（大阪浮世絵美術館所蔵）

〒542-0085 大阪市中央区心斎橋筋2-2-23 不二家心斎橋ビル3F 大阪浮世絵美術館

※エレベーター設備のないビルですので、予めご了承ください。

【開館時間】 午前の部10:00～12:00 / 午後の部13:00～17:00（最終入館 16:30）

【休館日】 月曜・火曜 ※開館時間・休館日は状況により急遽変更する場合がございます
詳しくはホームページをご確認ください

【観覧料】 大人1,000円 / 学生（学生証提示）600円 / 小学生（7～12歳）300円

<本件に関するお問い合わせ先>

TEL.06-4256-1311 / FAX.06-4256-1312 / Mail.osaka.ukiyoe2223@gmail.com

<https://osaka-ukiyoe-museum.com/>